

ASABA

自走式電動タンク車
電動運搬車

AT-70B
AD-120

取扱説明書

目 次

- 1 安全のため必ずお守りください.....P.1
- 2 梱包部品一覧.....P.3
- 3 末永くご使用いただくための重要事項.....P.4
- 4 製品に貼付されたラベルとその取り扱い.....P.4
- 5 各部の名称.....P.5
- 6 仕様.....P.6
- 7 作業を始める前に.....P.8
- 8 作業.....P.12
- 9 使用後のお手入れと保管.....P.16
- 10 バッテリチェックのしかた.....P.17
- 11 点検・整備.....P.17
- 12 電動運搬車への切替方法.....P.18
- 13 バッテリの取り扱い.....P.21
- 14 故障と対策.....P.26
- 15 故障かな？と思ったら.....P.27



⚠ 危険・警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守られなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

ご使用になる前に

初めてのご使用や、長期間使用しなかった場合には、必ず充電をしてからお使いください。長期間使用されなかった場合は、充電・放電を2～3回繰り返してください。バッテリー本来の性能が発揮されます。



株式会社 麻 場

本社／〒381-8530 長野市北長池1443-2
TEL : 026-244-1317
URL : <http://www.asaba-mfg.co.jp>

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚損したり紛失した場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、大切に保管してください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり、必ずお守りください。また、 の表示のあるラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、必ず所定の位置にお貼りください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルでは、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、次のように3段階に分けて表示しています。

 危険	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになります。
 警告	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
 注意	●その警告文に従わなかった場合、けがを負う恐れがあります。

尚、製品の故障や損傷につながる使い方に関する注意事項については、取扱説明書、機械に貼られたラベルともに、**重要** の表示を用いています。

本書に記載した図記号は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止（してはいけない）内容	 指示（必ず実行する）内容
---	--

1 安全のために必ずお守りください

★作業前

 危険	 ●感電の恐れがありますので、屋内の水気のない場所で充電してください。
	 ●濡れた手で充電器を取り扱わないでください。

注意

- 次に該当する方は、この製品を使用しないでください。
 - ◎酒気をおびた者
 - ◎過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者
 - ◎妊娠中の者
 - ◎満15歳未満の者
 - ◎負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者

- 作業前に接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等各部に異常がないことを確認してください。

- 安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。

- この製品を他人に貸与、または、譲渡する場合は、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。

- 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。

- 操作の前には必ず操作点検を行い、異常個所がないか事前に確認を行ってください。

- 本機をトラックに積み降ろしする際は、動噴・噴口は取り外し、タンクを空にし、ダイヤル③以下の状態で積み降ろしを行ってください。また、アルミブリッジは200kg以上の荷重に耐えられ、トラック荷台高の4倍以上の長さのものを使用してください。

重要

- お買い上げ後や使用前は必ずバッテリーの充電を行ってください。（詳しくは、P.21【13-1：充電のしかた】をお読みください。）

★農薬・薬液の取り扱い

! 注意	⊘ ●防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
	⊘ ●やけど、火災の恐れがありますので、強酸性の薬品・塗料・シンナー・ガソリン・灯油・ベンジン等は、絶対に使用しないでください。
	! ●調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがあります。薬液調合の際は、薬液の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
	! ●農薬は、必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
	⊘ ●農薬は、誤使用、誤飲の危険がありますので、絶対に別の容器に移し替えないでください。
	! ●農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は、薬害のない方法で処分してください。

★作業中

! 危険	⊘ ●本機に人を乗せないでください。
	⊘ ●木橋等を渡るときは、本製品質量と積載量および運転者の体重の総和が木橋等の制限重量を超えないことを確認し、一定速度で慎重に通過してください。
	! ●転倒し、怪我をする恐れがありますので、下り坂走行時はバッテリー電力走行しないでください。
	! ●後進時は、後方の障害物と本機の間で体が挟まれて怪我をする恐れがありますので、周囲を確認し、十分注意して行ってください。
	⊘ ●転倒し、怪我をする恐れがありますので、軟弱な路地では走行しないでください。
	! ●傾斜地では横断・旋回・駐停車しないでください。転落による怪我の恐れがあります。

! 注意	! ●薬品の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
	! ●水道、河川、水源地、池、沼、下水道などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
	! ●作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
	⊘ ●薬液を入れた状態で薬液タンクや車体を傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液が出ることがあります。薬液タンクや車体は傾けたり、落下させないでください。
	⊘ ●急発進、急加速、急旋回、急停止はしないでください。
	! ●スピードコントロールのレバーを握る前に、最高速度と発進方向を確認してください。
	⊘ ●走行時はやむを得ない場合を除き、急ブレーキ動作をしないでください。
	⊘ ●最大登坂角度（12°）を超える急傾斜地では、本製品を使用しないでください。
	⊘ ●本機に重量20kgを超える動噴は設置しないでください。
	⊘ ●片手運転になりますので、走行中は最高速調整ツマミで速度変更をしないでください。最高速度の調整は本機を完全に停止させてから行ってください。
	⊘ ●危険な場所、他人の迷惑になるような場所には駐停車しないでください。
	! ●下り坂の前では一旦停止し、本電源を切り、前方に障害物や人がいない事、傾斜角を確認してください。下るときにはハンドブレーキを使用しながらゆっくりと下ってください。



注意



●見通しの悪い場所や幅の狭い道、傾斜や起伏の激しい道では誘導者の指示に従い、安全確認を充分行ってから走行してください。



●運搬車使用時、積荷は偏荷重にならないよう、荷台に均一に載せ、ロープ等で固定してください。重量物を荷台前方に積載すると、斜面走行時本体が前方に転倒する恐れがありますので、重量物はなるべく後方（ハンドル側）を優先に積載してください。



●本製品にはスムーズに旋回できるよう駆動輪に遊びがあります。その為、停止動作後から本機が停止するまで多少の区間を要します。予め本製品の機能をご理解いただきご使用ください。

重要

- 運搬車使用時、本製品の最大積載量(120kg)を超える積載はしないでください。
- 静電噴口を取り扱う際は、必ずアース接続を行ってください。動作不良の原因となります。
- ブレーキを掛けながら、バッテリー走行はしないでください。

★作業後と保管



危険

- バッテリー充電中は、電源スイッチをONにしたり、火気を近づけないでください。



注意



●作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。



●余った薬液及び、機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水道に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。



●前回使用した薬液が、薬液タンク、ホース、動噴、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を十分に洗い流してください。



●使用後は本機を充分洗浄し、風雨や直射日光に当たらない、風通しの良い、凍結しない、子供の手の届かない、平坦な場所で保管してください。



●本機を整備・点検する際は、バッテリーを取り出して行ってください。

重要

- 高圧洗浄機や水圧を利用した機器等で、本機を洗浄しないでください。
- 使用後は直ちにバッテリー充電を行い、満充電で保管してください。

2

梱包部品一覧

最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もしも、欠品または破損などがありましたら、製品名・型式・製造番号と共にお買い上げの販売店にお知らせください。（製造番号はP.4を参照してください。）

製品名：自走式電動タンク車				型式：AT-70B			
品名		数量	備考	品名		数量	備考
本体部一式		1		固定バンド		1	
吸水ホース G1/2×G1/2		1	ホース赤	S字フック		2	
余水ホース G1/2×G1/2		1	ホース透明	ガードフレーム(前)		1	
余水ホース G1/2		1	ホース透明	ガードフレーム(横)		2	
充電器		1		ガードフレーム固定ピン		6	
充電器変換ケーブル		1		予備ヒューズ		1	20A用
ノブボルト M8×60		1		T型レンチ HEX17		1	
六角ボルト M8×60		1	HW,SW 付	スパナ HEX13		1	
EP-160GB固定金具		2		取扱説明書		1	本書
ホースバンド D16		1		保証書		1	

製品名：電動運搬車			型式：AD-120		
品名	数 量	備 考	品名	数 量	備 考
本体部一式	1		予備ヒューズ	1	20A用
充電器	1		T型レンチ HEX17	1	
充電器変換ケーブル	1		スパナ HEX13	1	
ガードフレーム(前)	1		取扱説明書	1	本 書
ガードフレーム(横)	2		保証書	1	
ガードフレーム固定ピン	6				

製品名：タンク車用支柱キット（別売品）					
品 名	数 量	備 考	品 名	数 量	備 考
分水器固定バー	1		バネ座金 M8用	4	
分水器完成	1		デップ立てバンド完成	1	
接続ホース G1/4×G1/4	1	L=500	噴管固定金具一式	2	
接続ホース G1/4×G1/4	2	L=900	90° エルボ G1/4	2	
噴管支柱	1		ニップル G1/4×G1/4	2	
六角ボルト M8×20	4		ワンタッチジョイント G1/4	2	

※タンク車用支柱キット（別売品）はムカデ噴口（別売品）を本機に取り付ける為の専用オプションです。
 本機にムカデ噴口を取り付けることで、畝間などを運転しながら本機の左右に薬剤を噴霧する散布車として扱うことができます。

3 末永くご使用いただくための重要事項

本製品を末永くご使用していただくため、次の項目をお守りください。

重要

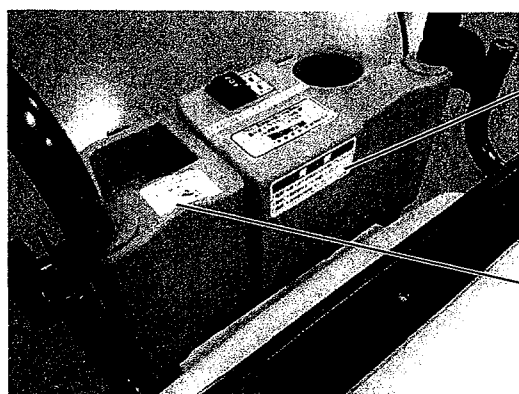
1. 購入後や使用前には充電してください。
2. 使用後はすぐに保管してください。
3. 満充電で保管してください。

※充電のしかた等は、P.21【13-1バッテリーのしかた】をお読みください。

※6ヶ月以上の長期保管する時は、P.16【9-3長期保管】をよくお読みください。

4 製品に貼付されたラベルとその取り扱い

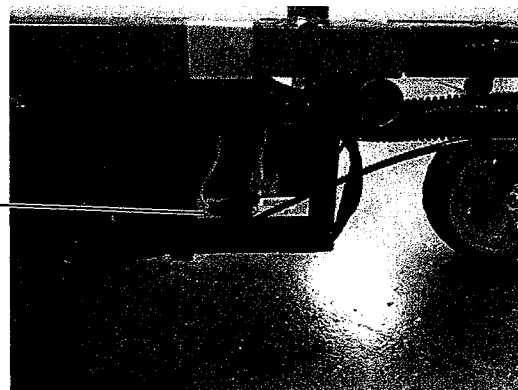
- ラベル部はいつもきれいにし、傷つけないようにしてください。
- ラベルが汚損したり、はがれた場合は、お買い上げの販売店にラベル品番とともに注文し、新しいラベルに貼り替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、汚れをふき取り、乾いた面にして、元の位置に貼ってください。



重要ラベル
部番：689040440

ヒューズ重要ラベル
部番：692007620

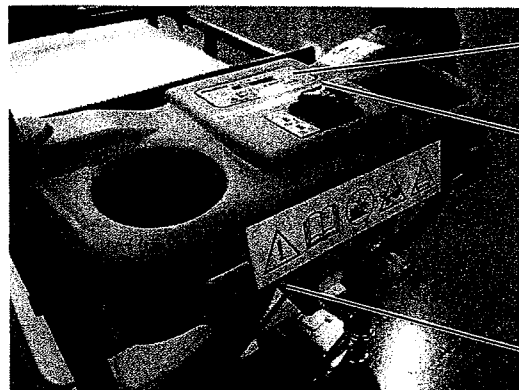
積載重要ラベル
部番：692007610



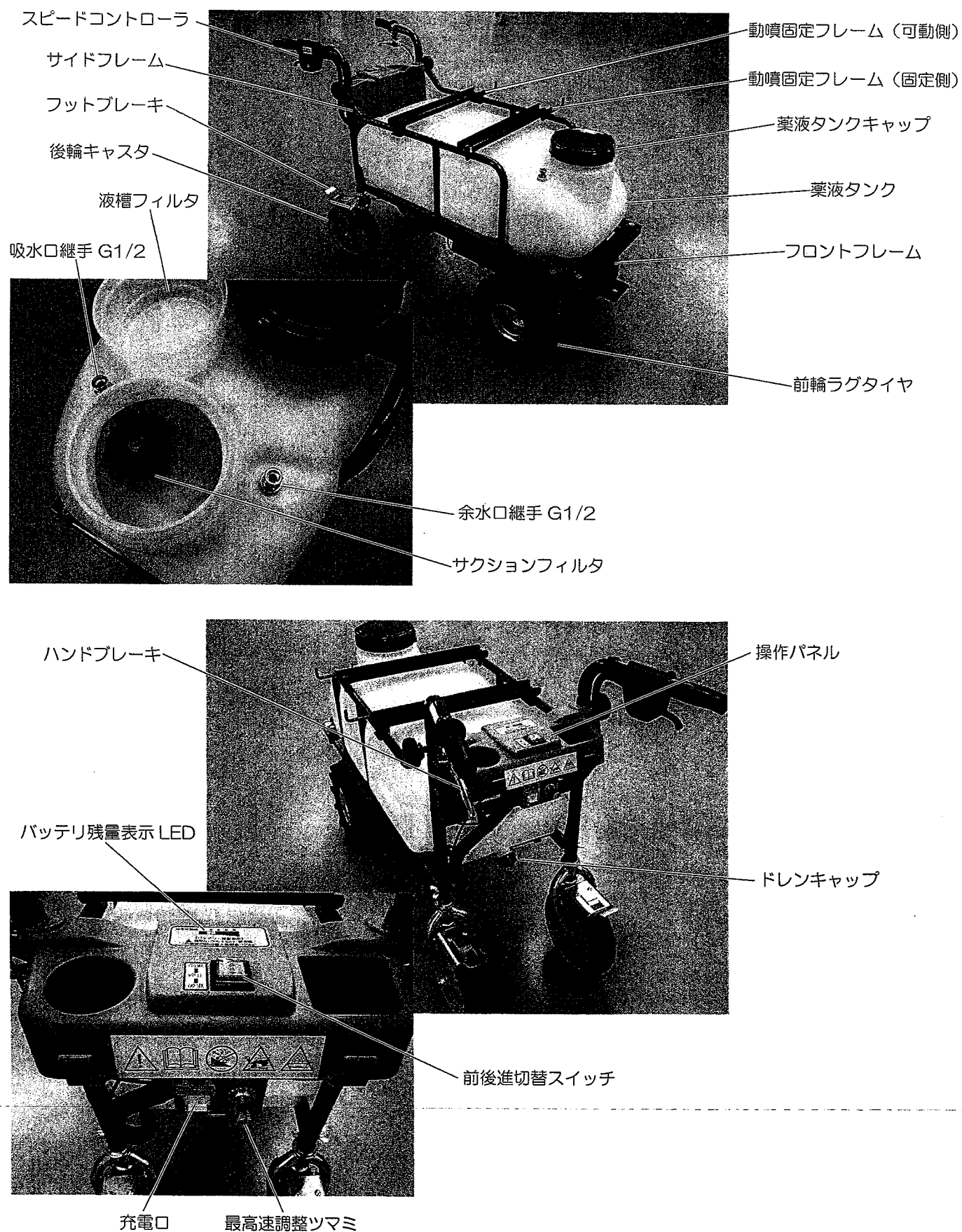
バッテリー残量表示ラベル

ブレーキ重要ラベル
部番：692007600

製造番号ラベル



5 各部の名称



6 仕様

製品名称		自走式電動タンク車
製品型式		AT-70B
本体寸法		高さ880mm×幅500mm×奥行き1300mm
質量		54kg
タンク容量		70ℓ
モータ形式		直流ブラシモータ (430W/3200rpm)
ブレーキ方式		ディスクブレーキ (自在式、ブレーキロック可)
駐車ブレーキ		前輪ブレーキロック、及び後輪ブレーキ
旋回方式		人力旋回
ハンドル可変延長量		50mm×2段階
登坂角度		12° (積載量100kg以下)
連続運転時間		約2時間
バッテリー	型式	鉛蓄電池
	公称電圧	DC24V
	公称容量	10Ah
充電器	入力電源	AC100V～240V 50/60Hz
	出力電圧	30VDC
	出力電流	1A
	充電時間	8～12時間
	その他	過充電防止機能付き
変速	最高速調整	無段階調整 1.0～5.0km/h
	速度無段階調整	手元トリガ 0～設定最高速値
前輪	型式	エアチューブ入りラグタイヤ
	外径	φ310mm
	太さ	100mm
	材質	ゴム
	タイヤ幅	480mm
後輪	型式	ノーパンクタイヤ (キャスター/フットブレーキ付)
	外径	φ240mm
	太さ	70mm
	材質	PP樹脂 EVA
作動温度範囲		5～40℃
バッテリー残量表示		LED表示
用途		適応小型動力噴霧機を搭載した農業散布作業及び、家庭菜園への散水作業
適応小型動力噴霧機		EP-161GB EP-100SM EP-100W4M EP-100DM EP-100S EP-100W4 EP-100D MP-391A MP-391AM 等
搭載可能噴口		タンクロー用ムカデ噴口

※1) 上記の性能値はテスト値であり、保証値ではありません。使用環境により、その値は変化します。

※2) 上記噴口を取り付けるには「タンク車用支柱部 ASSY (別売品)」が別途必要になります。

※3) 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

製 品 名 称		電動運搬車
製 品 型 式		AD-120
本 体 寸 法		高さ880mm×幅580mm×奥行き1280mm
質 量		45kg
モ ー タ 形 式		直流ブラシモータ (430W/3200rpm)
ブレーキ方式		ディスクブレーキ (自在式、ブレーキロック可)
駐車ブレーキ		前輪ブレーキロック、及び後輪ブレーキ
旋 回 方 式		人力旋回
ハンドル可変延長量		50mm×2段階
最 大 積 載 量		120kg(傾斜0° 運転時)
登 坂 角 度		12° (積載量100kg以下)
連続運転時間		約2時間
バッテリ	型 式	鉛蓄電池
	公 称 電 圧	DC24V
	公 称 容 量	10Ah
充電器	入 力 電 源	AC100V~240V 50/60Hz
	出 力 電 圧	30VDC
	出 力 電 流	1A
	充 電 時 間	8~12時間
	そ の 他	過充電防止機能付き
変速	最高速調整	無段階調整 1.0~5.0km/h
	速度無段階調整	手元トリガ 0~設定最高速値
前輪	型 式	エアチューブ入りラグタイヤ
	外 径	φ310mm
	太 さ	100mm
	材 質	ゴム
	タイヤ幅	480mm
後輪	型 式	ノーパンクタイヤ (キャスター/フットブレーキ付)
	外 径	φ240mm
	太 さ	70mm
	材 質	PP樹脂 EVA
作動温度範囲		5~40℃
バッテリー残量表示		LED表示
用 途		野菜・果物等の収穫物、その他重量物の運搬作業。
荷台寸法	縦可変延長量	180mm (30mm×6段階)
	縦寸法	950~1130mm
	横可変延長量	240mm (30mm×左右各4段階)
	横寸法	530~770mm

※1) 上記の性能値はテスト値であり、保証値ではありません。使用環境により、その値は変化します。

※2) 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

7

作業を始める前に

7-1: バッテリの充電

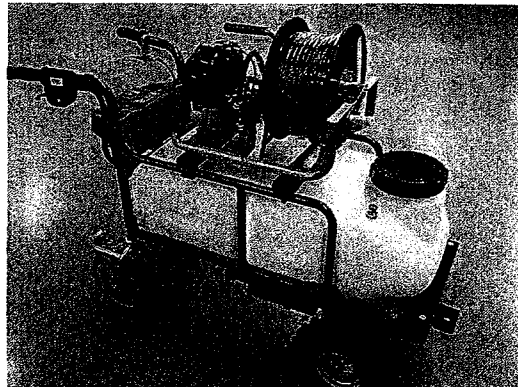
重要

- お買い上げ後最初に使用する時や、使用前は、必ずバッテリーの充電を行ってください。
(詳しくは、P.21【13-1: 充電のしかた】をお読みください。)

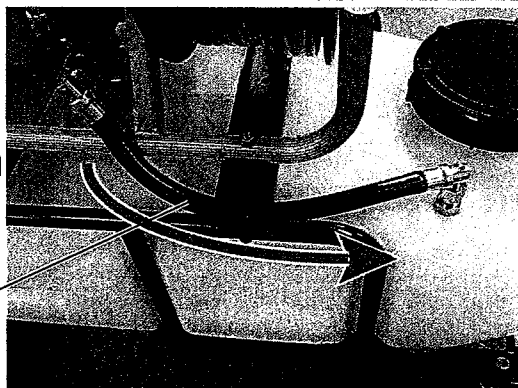
7-2: 小型動噴の搭載

【5. 各部の名称】を参照して機器を取り付けます。

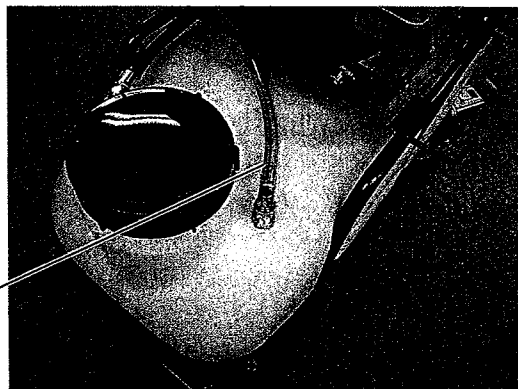
- ①動噴を動噴固定フレームに設置します。
(動噴のエンジン側が本機の操作パネル側を向くように設置してください。)



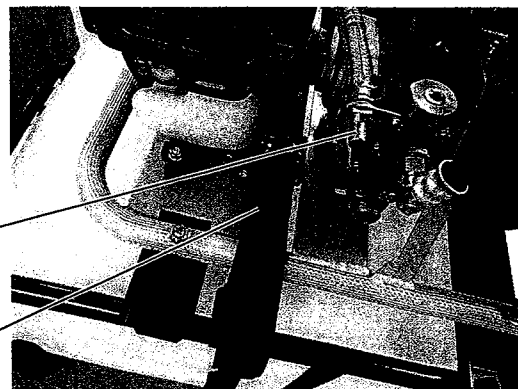
- ②「吸水ホース G1/2×G1/2」を動噴固定フレーム(固定側)の下をくぐらせて、動噴の吸水口と本機の吸水口に接続します。
(弊社モータ動噴との接続には別途「異径金具 G1/2×G3/8」が必要です。)
※ホースと本機の吸/余水口の接続には HEX14 と HEX24 のスパナが必要です。



- ③「余水ホース G1/2」を本機の吸水口へ接続します。このとき、片側のホースの先をタンクと動噴固定フレームの間を通し、動噴の余水ジョイントへ近づけます。

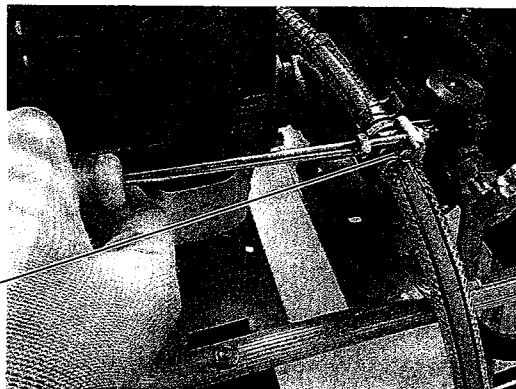


- ④固定バンドを左右のサイドフレームに取り付けて、動噴を固定します。



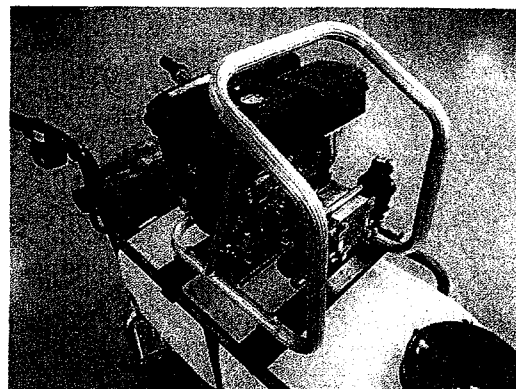
- ⑤余水ホースに予めホースバンドを通した状態で余水ホースを動噴の余水ホースジョイントへ差し込み、ホースバンドをプラスドライバーで固定します。

ホースバンド



7-3: コンパクト動噴の搭載

- ①動噴を動噴固定フレームに設置します。
(動噴のエンジン側が本機の操作パネル側を向くように設置してください。)

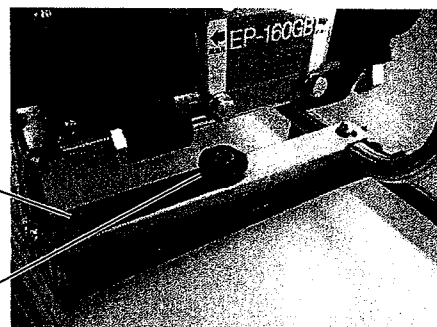
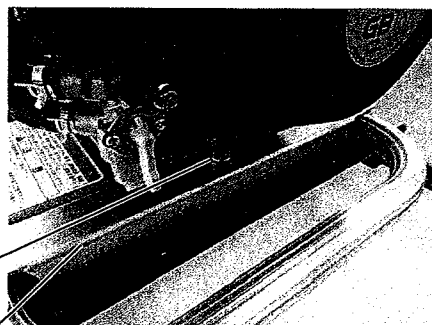


- ②動噴固定フレームへ「EP-160GB 固定金具」2個を乗せて、付属のボルトで固定します。
尚、それぞれ固定するボルトは、下記のように異なります。
可動側：六角ボルト M8×60
固定側：ノブボルト M8×60

六角ボルト M8×60

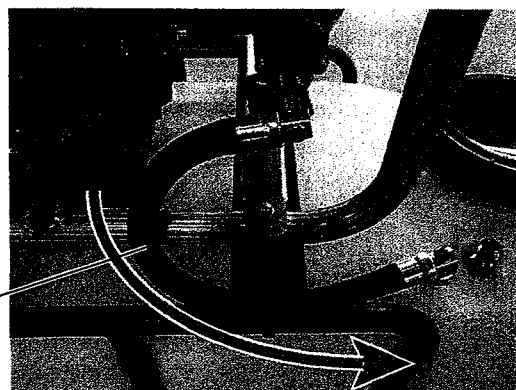
EP-160GB 固定金具

ノブボルト M8×60



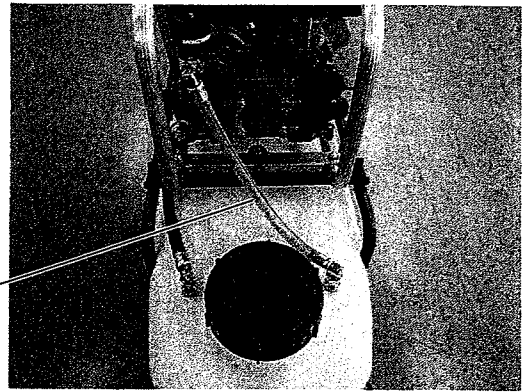
- ③「吸水ホース G1/2×G1/2」を動噴の吸水口へ接続した後、ホースを動噴固定フレームの下をくぐらせて、本機の吸水口へ接続します。

吸水ホース



- ④「余水ホース G1/2×G1/2」を動噴の余水口と本機の余水口に接続します。

余水ホース



注意



●作業前に各ネジ部にゆるみがないこと、接続部のパッキン、Oリングの脱落がないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認してください。



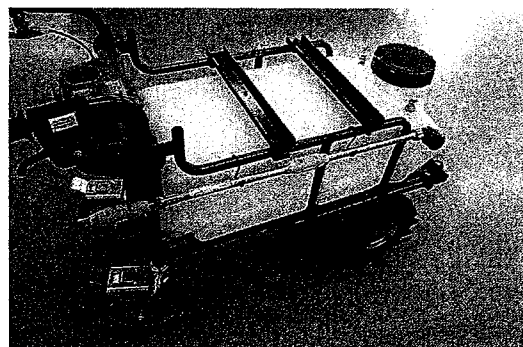
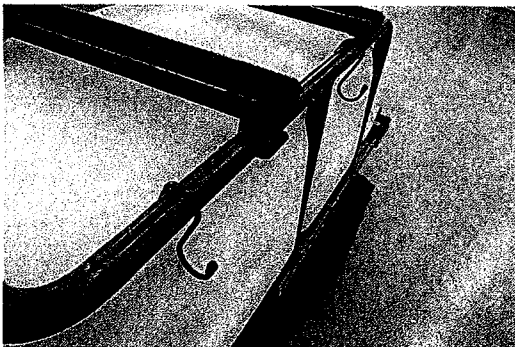
●安全性を損なう恐れがありますので、付属ホースは他の用途（コンプレッサでの使用等）には使用しないでください。



●破損の恐れがありますので、ホースを無理にねじったり、引っ張ったり、曲げたりしないでください。

7-4: 噴口掛け（S字フック）の取り付け

鉄砲型噴口を使う場合は、付属のS字フックをサイドフレームに吊り下げて、噴口掛けとしてご使用ください。



7-5: 薬液の調合、充填

電源スイッチがOFFになっていることを確認し、調合した薬液を薬液タンクに充填します。

1) 薬液タンクには、薬液が70ℓ入ります。薬液タンクに目盛りが付いてますので、作業の目安としてください。



注意



●防除・除草用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。



●強酸性の薬品・塗料・シンナー等は絶対に使用しないでください。



●薬液の調合の際は、必ず薬品メーカーの指示に従ってください。調合が適切でない農薬は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になることがあります。



●薬液を入れ終わったら、タンクキャップをしっかりと締め付けてください。



●薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。

重要

- 薬液を薬液タンクに入れる際は、別の容器でよく攪拌して、必ず付属のストレーナ（コシ網）を通して入れてください。（薬液に異物やゴミが混ざっていると、故障の原因になります。）
- 土壌消毒剤、土壌熏蒸剤は、故障の原因になりますので、使用しないでください。

7-6: ムカデ噴口（別売品）の搭載

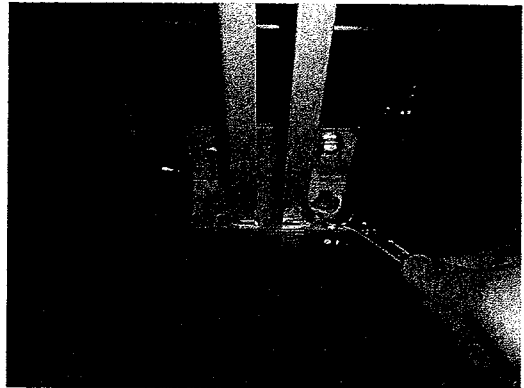
「コンパクト動噴」を搭載し、別売の「ムカデ噴口」「タンク車用支柱キット」をお買い求めいただくと、運転しながら薬液を噴霧できる散布車として扱うことができます。

（「タンク車用支柱キット」の梱包部品は、P.4【2：梱包部品一覧】をお読みください。）

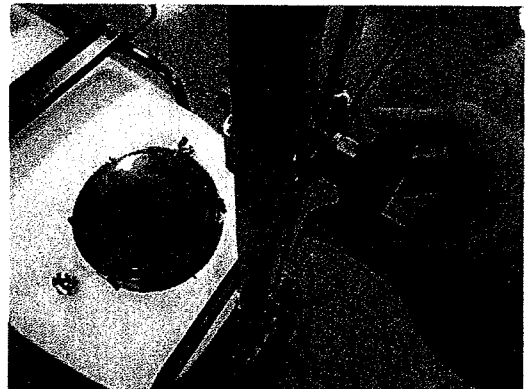
①「噴管支柱」を本機のフロントフレームに取り付けます。

締付部品：

- ・六角ボルト M8×20（4本）
- ・バネ座金 M8 用（4枚）

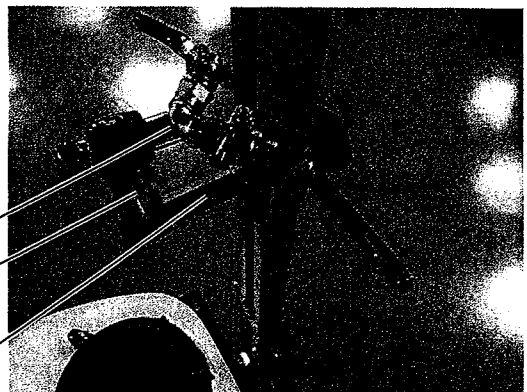


②「噴管固定金具一式」を噴管支柱部の上部と下部にそれぞれ1つずつ取り付けます。

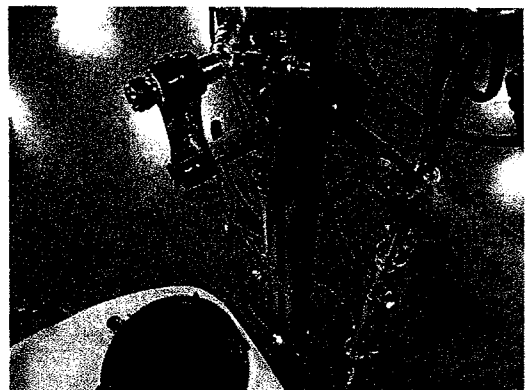


③「分水器固定バー」を上部の噴管固定金具一式へ組み付け、「デップ立てバンド完成」にて「分水器完成」を固定します。

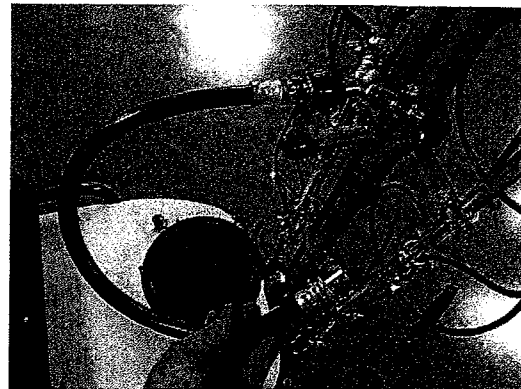
分水器完成
デップ立てバンド完成
分水器固定バー



④「ムカデ噴口」を噴管固定金具一式のUボルトで取り付けます。
（噴管のメネジが下へ向くように取り付けてください。）

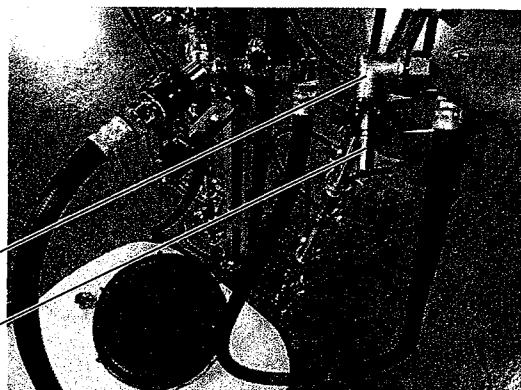


- ⑤「接続ホース G1/4×G1/4 500mm」を、動噴の吐出口と分水器完成に接続します。
(ホースのL字継手側は動噴の吐出口へ接続してください。)



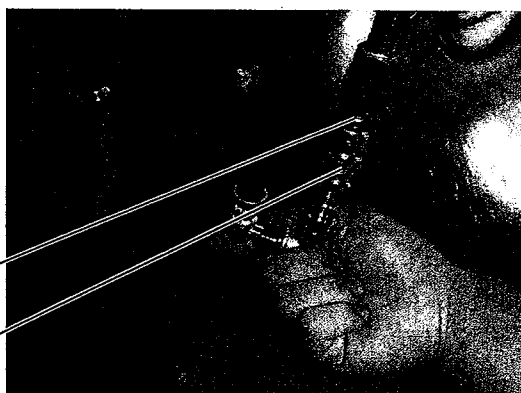
- ⑥「接続ホース G1/4×G1/4 900mm」2本を、分水器完成に接続します。何も取り付けていないL字継手へ「90° エルボ」「ワンタッチジョイント G1/4(オス側)」を取り付けます。

90° エルボ
ワンタッチジョイント G1/4(オス側)



- ⑦ムカデ噴口の噴管メネジ部に「ニップル G1/4×G1/4」と「ワンタッチジョイント G1/4(メス側)」を取り付け、接続ホースのワンタッチジョイントと接続します。
噴口の水抜きをワンタッチで行うことができます。

ニップル G1/4×G1/4
ワンタッチジョイント G1/4(メス側)



8 作業

8-1: 作業の前に

 注意	●農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
	●水道、河川、水源地、池、沼、下水道などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
	●薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。
	●作業中、作業後にめまい、頭痛を生じたり気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
	●操作の前には必ず操作点検を行い、異常個所がないか事前に確認を行ってください。
	●ハンドブレーキは適正に作動するか事前に確認を行ってください。

8-2: 本機の起動

スピードコントローラにある電源スイッチを2秒以上長押しすると、本機が起動します。

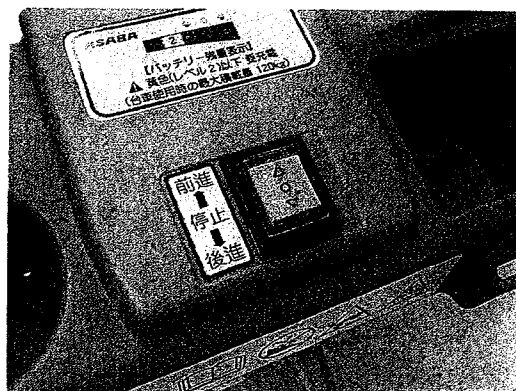
この時、スピードコントローラのLEDと操作パネルのバッテリー残量表示LEDが点灯するのを確認してください。

(本機が起動している状態でもう一度電源スイッチを押すと、電源が切れます。)



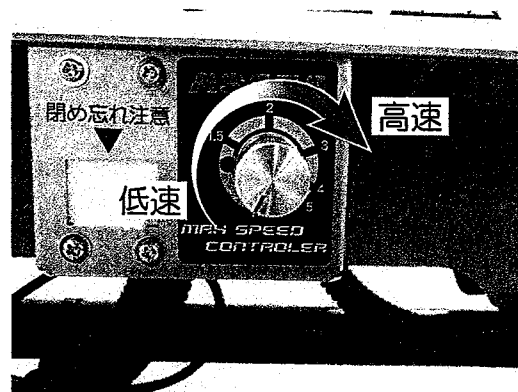
8-3: 走行方法

①操作パネルにある「前後進切替スイッチ」で本機の進行方向を選択します。



②操作パネル下部の「最高速調整ツマミ」で本機の最高速度を設定します。

(最高速度はスピードコントローラを最大まで握ったときの速度を示します。)



③スピードコントローラを握ると、本機が発進します。

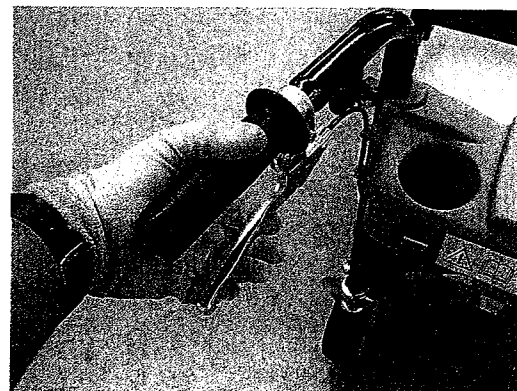
(レバーの握り具合で本機の速度が変わります。レバーを浅く握ると低速走行になりますので、旋回時等にご利用ください。)



重要

- 動作前には必ずハンドブレーキ、フットブレーキが解除されていることを確認してください。
(ブレーキ解除については、P.15【8-4: 停車】をお読みください。)

- ④ハンドブレーキを握ると、前輪にブレーキがかかります。坂道を下るときに本機のを速度を抑制しながら下ることができます。
※スピードコントローラとハンドブレーキは同時に握らないでください。故障の原因になります。



! 危険	⊘ ●本機に人を乗せないでください。
	⊘ ●木橋等を渡るときは、本製品質量と積載量および運転者の体重の総和が木橋等の制限重量を超えないことを確認し、一定速度で慎重に通過してください。
	! ●転倒し、怪我をする恐れがありますので、下り坂走行時はバッテリー電力走行しないでください。
	! ●後進時は、後方の障害物と本機の間体が挟まれて怪我をする恐れがありますので、周囲を確認し、十分注意して行ってください。
	⊘ ●転倒し、怪我をする恐れがありますので、軟弱な路地では走行しないでください。
	! ●傾斜地では横断・旋回・駐停車しないでください。転落による怪我の恐れがあります。

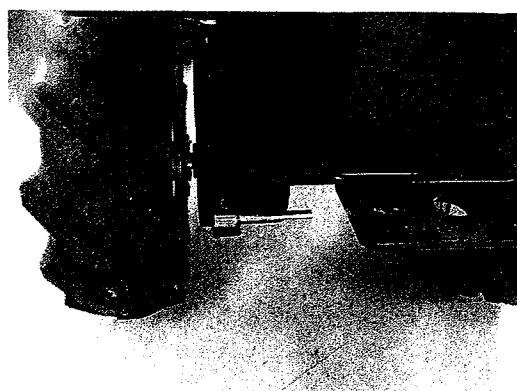
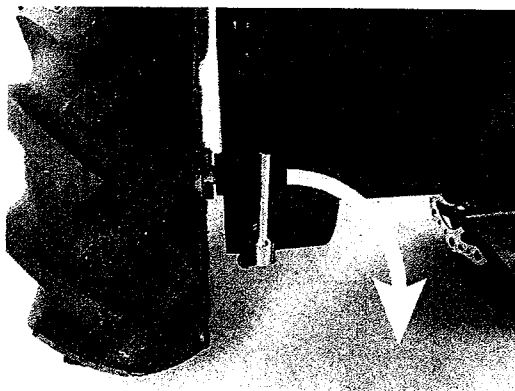
! 注意	⊘ ●急発進、急加速、急旋回、急停止はしないでください。
	! ●スピードコントローラのレバーを握る前に、最高速度と発進方向を確認してください。
	⊘ ●走行時はやむを得ない場合を除き、急ブレーキ動作をしないでください。
	⊘ ●最大登坂角度（12°）を超える急傾斜地では、本製品を使用しないでください。
	⊘ ●片手運転になりますので、走行中は最高速調整ツマミで速度変更をしないでください。最高速度の調整は本機を完全に停止させてから行ってください。
	! ●下り坂の前では一旦停止し、本電源を切り、前方に障害物や人がいない事、傾斜角を確認してください。下るときにはハンドブレーキを使用しながらゆっくりと下ってください。
	! ●見通しの悪い場所や幅の狭い道、傾斜や起伏の激しい道では誘導者の指示に従い、安全確認を充分行ってから走行してください。
	! ●本製品にはスムーズに旋回できるよう駆動輪に遊びがあります。その為、停止動作後から本機が停止するまで多少の区間を要します。予め本製品の機能をご理解いただきご使用ください。

重要

- スピードコントローラとハンドブレーキは同時に握らないでください。故障の原因になります。本機にブレーキをかけるときは、スピードコントローラを握っていない状態で行ってください。

8-3: ニュートラル（無負荷手押し） 走行

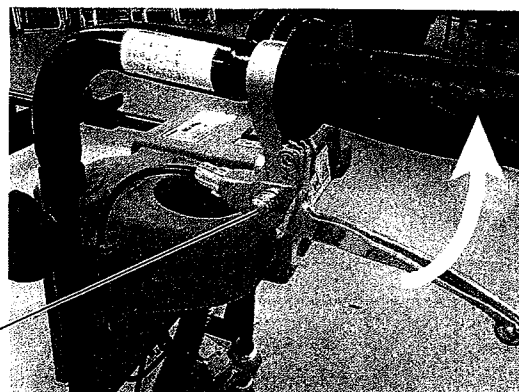
本機前方にあるギアレバーを垂直から水平に倒すことで、モータによるバッテリー走行を行わないニュートラル（無負荷手押し）走行が可能です。バッテリーを使い切ってしまった時などにお使いください。



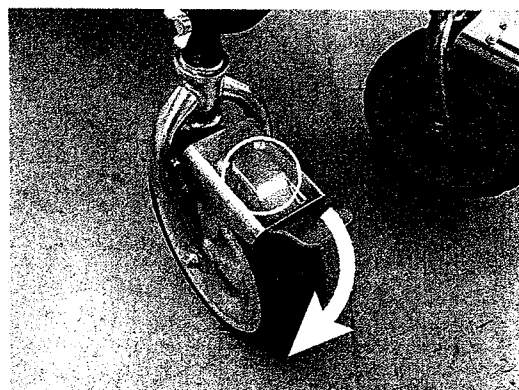
8-4: 停車

- ①ハンドブレーキを握り、ロックボタンを押し込んだままハンドブレーキを放すと、ブレーキロック（前輪ブレーキがかかった状態を維持しつづけること）ができます。
（再度ハンドブレーキを強く握ると、ブレーキロックを解除できます。動作前には必ずブレーキロックを解除してください。）

ロックボタン



- ②後輪フットブレーキのレバーを踏み込むと、後輪がロックします。
（ロック時は円内のレバーが起き上がります。このレバーを踏むと、ロックが解除されます。動作前には必ずブレーキロックを解除してください。）



注意



●危険な場所、他人の迷惑になるような場所には駐停車しないでください。

8-5: トラックへの積み降ろし

- ①平坦で堅固な場所にトラックを駐車します。
②外れ止めのついたアルミブリッジをトラック荷台に外れないように固定します。
③本機前輪とアルミブリッジの方向を真っ直ぐに揃えてから、積み込む場合はゆっくり加速しながら、降ろす場合はハンドブレーキを使い速度を制御しながら積み降ろしを行ってください。
④トラック荷台に積み込み後、本機を停車し、輸送中に転倒しないようロープ等で固定してください。
（停車方法は、P.15【8-4：停車】をお読みください。）



注意

- 本機をトラックに積み下ろしする際は、動噴・噴口は取り外し、タンクを空にし、ダイヤル③以下の状態で積み降ろしを行ってください。また、アルミブリッジは200kg以上の荷重に耐えられ、トラック荷台高の4倍以上の長さのものを使用してください。
- トラック荷台から本機を降ろす際は、バッテリー走行しないでください。
- 走行路の角度が変わり急に加速するおそれがありますので、積み込み時に本機がアルミブリッジからトラック荷台に差しかかる際には充分に注意してください。

重要

- トラック荷台への積み降ろしの前には、必ずハンドブレーキ、フットブレーキが解除されていることを確認してください。

9

使用後のお手入れと保管

9-1: 作業が終わったら



注意

- 作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。
- 余った薬液及び、機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水道に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- 前回使用した薬液が、薬液タンク、ホース、動噴、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を十分に洗い流してください。
- 使用後は本機を充分洗浄し、風雨や直射日光に当たらない、風通しの良い、凍結しない、子供の手の届かない、平坦な場所で保管してください。
※プラスチック部分は、直射日光に長時間されされると、著しく強度が低下することがあります。また注意ラベルも変色したり、はげやすくなったりしますので、保管には充分注意してください。
- 本機を整備・点検する際は、バッテリーを取り出して行ってください。

重要

- 使用後は直ちにバッテリー充電を行い、満充電で保管してください。

9-2: 本機の洗浄

重要

- 使用後は薬液タンク内の残液を抜き、薬液タンク内面に付着した薬液を清水できれいに流してください。
- 再度薬液タンク内に清水を入れ、動噴を数分（2～3分）運転し、動噴、ホース、噴口などの内部に残っている薬液を洗い流してください。その後薬液タンク内の残液を抜き、再度動噴を運転し噴口から残液が出なくなったら、動噴を停止してください。
- 高圧洗浄機や水圧を利用した機器等で、本機を洗浄しないでください。

9-3: 長期保管

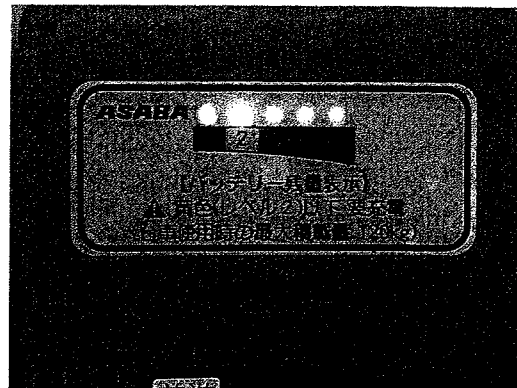
長期間（60日以上）本機を使用しないときは、上記の手入れに加えて下記事項を実施してください。

重要

- 特に、冬期の保管では、凍結による故障、破損の原因となりますので、動噴、噴口、吸/余水ホースを本機から外して、完全に本機の水気をはらってから保管してください。
- 保管前にバッテリーを満充電にし、保管中は1ヶ月に1度は充電してください。また、使用前にも充電してください。
- 予備のバッテリーをご使用の場合にも上記同様に保管してください。また、密閉容器内での保管はしないでください。

10 バッテリーチェックのしかた

- 本機では、バッテリーのチェックをより正確に行うため、本機が運転状態でのバッテリー電圧を、バッテリー残量表示LEDで表示しています。
- バッテリーのチェックは本機操作パネルのバッテリー残量表示LEDで行います。〔5. 各部の名称〕参照
- 本機の電源をONにした状態で、点灯しているLEDを確認します。
 - いずれかの緑色のLEDが点灯：
バッテリーの状態が適切ですので作業を行ってください。
 - 黄色と赤色のLEDのみ点灯：
バッテリーの残量が残りわずかですので、バッテリーの充電を行ってください。
 - 赤色のLEDのみ点灯：
バッテリー残量がありません。すぐにバッテリー充電を行ってください。



重要

- バッテリーを適正な状態に保つため、作業終了後はLEDが全て点灯していても満充電になるまで充電し、保管してください。

11 点検・整備

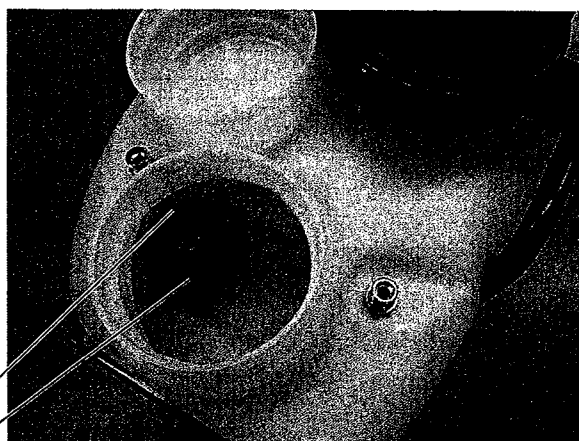
重要

- 常に機械はきれいにしておくよう心がけましょう。ネジ類の緩みや破損している箇所がないか調べてください。また、次に示す項目についても点検・整備を心がけるようにしてください。

11-1: サクションフィルタ

薬液タンク底部のサクションフィルタは、液槽フィルタを通ったり、何らかの原因でタンク内に入ったゴミや塵がポンプに入らないためのフィルタです。サクションフィルタが詰まると、噴霧状態が悪化したり、ポンプにも悪影響を与えますので、使用後は、薬液タンク底部のサクションフィルタを清掃してください。吸水内ホースとの接続はネジ込み式なので、サクションフィルタをネジの緩み方向へ回せば吸水内ホースから取り外せます。清掃後は、元の状態に戻してください。

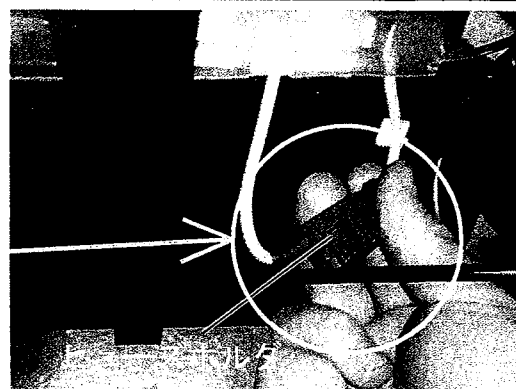
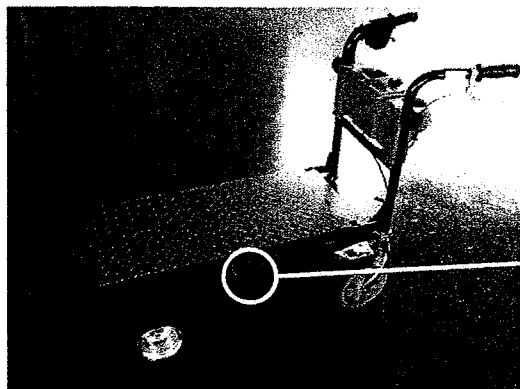
吸水内ホース
サクションフィルタ



11-2: ヒューズの交換

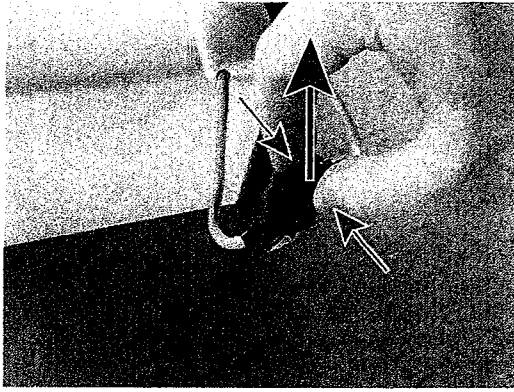
重要

- 本機にはモータ、基板保護のためヒューズを取り付けてあります。ヒューズホルダはバッテリーボックスに組み付いており、本機下部側面からも確認できます。



何らかの原因でヒューズが切れた場合は、新しいヒューズと交換してください。

下図のようにヒューズホルダカバー側面のクリップ部を押すようにつまんでから、上部へひっぱり、ヒューズホルダを開きます。ヒューズ交換後は、再びヒューズホルダを閉じてください。



また、ヒューズが切れた原因を究明して、その箇所を改善・修理してから作業を行ってください。

※ヒューズが切れる原因としては、次のことが挙げられます。

- 最大積載量を超えた過積載運転。
- 最大傾斜を超えた登坂運転。
- ハンドブレーキロック・フットブレーキロックをした状態での運転。
- ディスクブレーキパッドの固着。
- トラック積み込み時の過積載運転、またはダイヤル③を超えた状態での運転。

上記内容を確認していただいても、ヒューズが切れるときは、販売店にご相談ください。

ヒューズ型式：自動車用ミニ平型ヒューズ 20A

※本製品には予備ヒューズを付属しています。

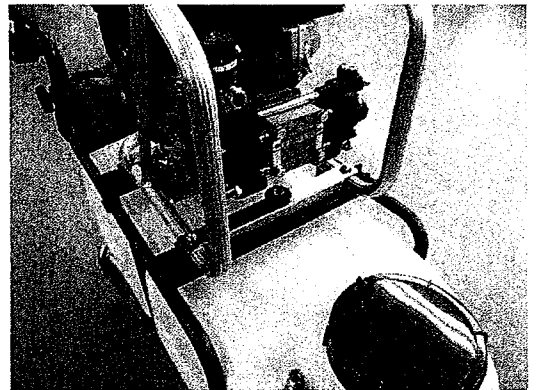
また、ヒューズはホームセンター等でもお買い求めいただけます。

12 電動運搬車への切替方法

自走式電動タンク車 AT-70B は、タンク・フレーム部を取り外すことにより、電動運搬車としても使用することができます。切替は、以下の手順により行ってください。

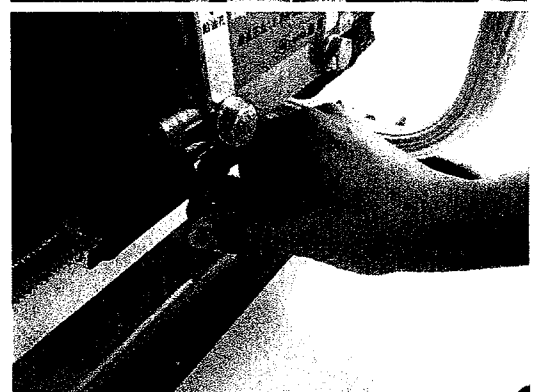
12-1：動噴の取り外し

- ①吸水ホース、余水ホースを動噴やタンクから取り外します。
ポンプティを搭載している場合は、「固定バンド」も外します。

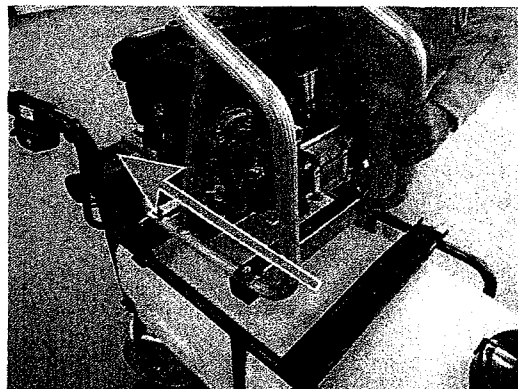


※②～④はコンパクト動噴を搭載している場合の説明になります。

- ②「動噴固定フレーム（固定側）」から「ノブボルト M8×60」を外します。

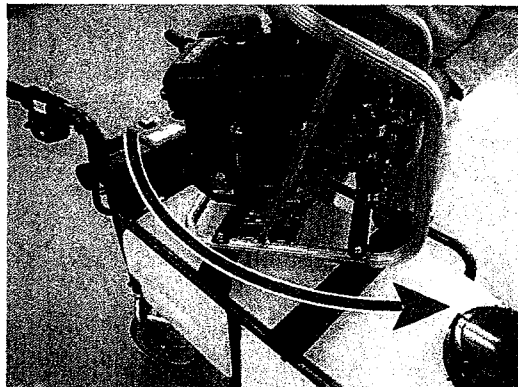


③コンパクト動噴のポンプ側を少し持ち上げて、コンパクト動噴と「動噴固定フレーム（可動側）」を後方へ下げます。



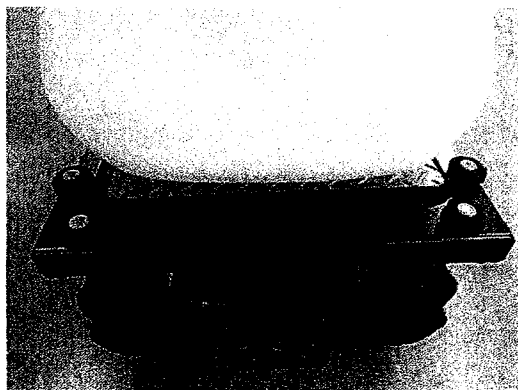
④コンパクト動噴と「動噴固定フレーム（可動側）」を斜めにスライドさせて、同時に本機から取り外します。

※ポンプティを搭載している場合は、動噴を持ち上げて取り外した後、「動噴固定フレーム（可動側）」を別個で取り外します。

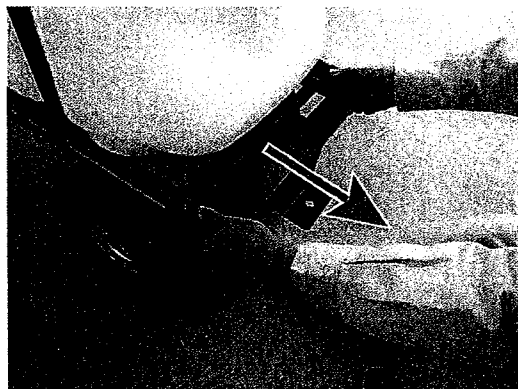


12-2：フレーム・タンクの取り外し

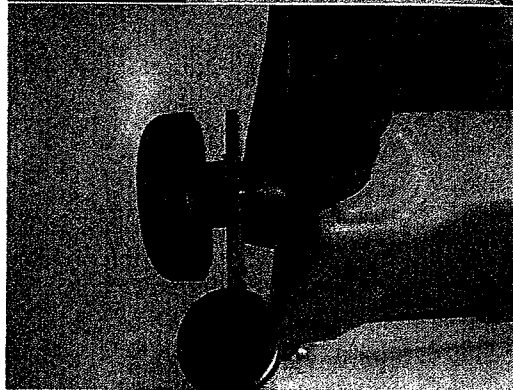
①車体前方の「フロントフレーム」を固定している「ノブボルト」と「ナット」を各4つ外します。
※ナットの紛失にご注意ください。



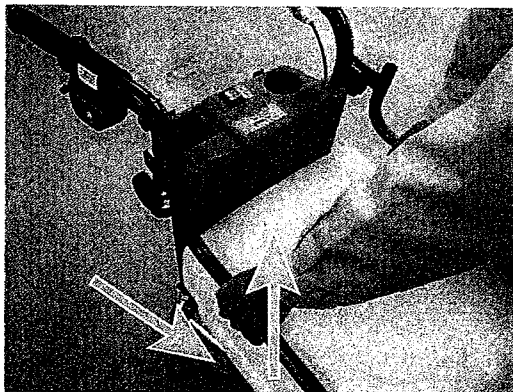
②「フロントフレーム」をスライドさせて、車体から外します。



③操作パネル両脇のノブボルトを少し緩めます。



④両脇の「サイドフレーム」持って、タンク部一式を車体前方に寄せた後、上へ持ち上げて、「サイドフレーム」先端のフックをノブボルトのネジ部から外します。



⑤タンク部一式を持ち上げて外します。

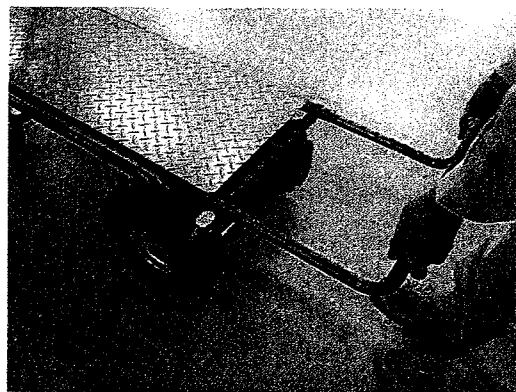


⑥緩めたノブボルトを再度締め付けます。



12-3: ガードフレームの取り付け

- ①車体の両側と前方に「ガードフレーム」を差し込み、「ガードフレーム固定ピン」で固定します。荷台の面積はガードフレームを差し込む深さにより調整することができます。



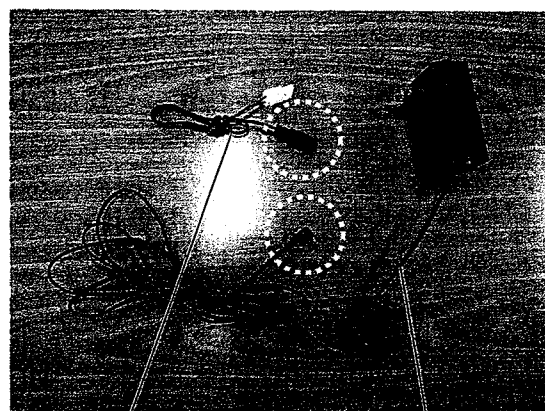
13 バッテリーの取り扱い

13-1: 充電のしかた

本機は、本体の充電コネクタに直接充電する方法と、バッテリーを本機より取り出して充電する2通りの充電方法があります。

A: 本体の充電コネクタに直接充電する方法

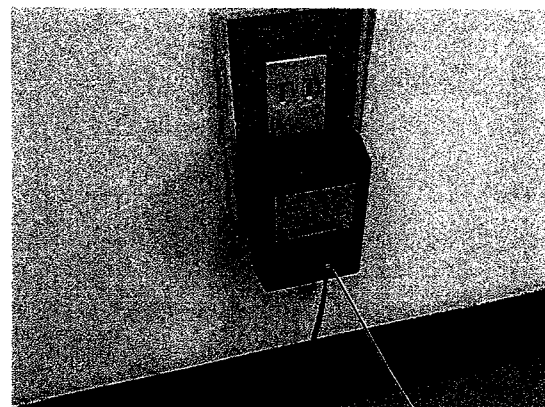
- ①電源スイッチをOFFにしてください。
- ②「充電器」のプラグを「充電変換ケーブル」のジャックに接続してください。



充電変換ケーブル

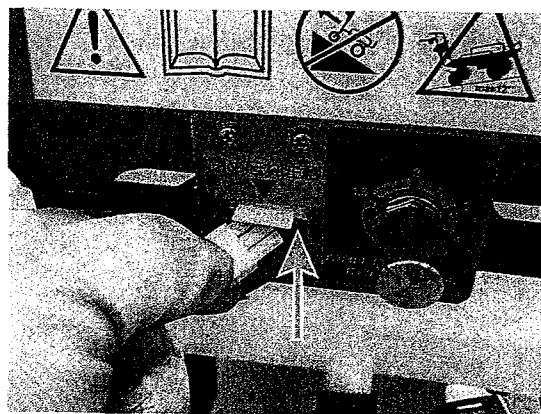
充電器

- ③「充電器」の充電プラグを家庭用 AC100V コンセントに差し込んでください。このとき、充電器のLED が緑色に点灯することを確認してください。
- 充電器のLED が緑色に点灯するのは、スタンバイ状態あるいは充電完了を示します。



LED

- ③本機の操作パネル下部の充電口シャッタを開いて、充電コネクタに充電器のコネクタを接続します。充電器のLEDの色が緑色から赤色に点灯することを確認してください。
充電器のLEDが赤色に点灯するのは、充電中を示します。



- ④8～12時間後、充電器のLEDが緑色に点灯すると、バッテリー満充電を示します。
(充電器のLEDが緑色に点灯するまでの時間は放電状態により異なります。)

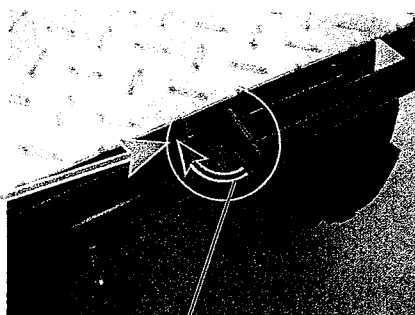
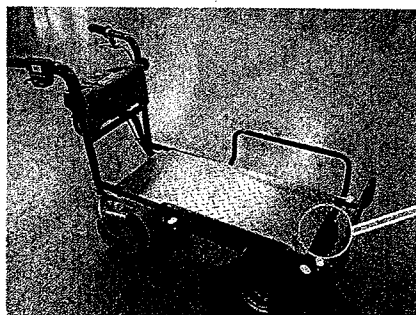
- ⑤充電終了後は本体の充電コネクタから充電器のコネクタを抜き、家庭用AC100Vのコンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

重要

- 充電コネクタ部が腐食する恐れがありますので、充電時以外は充電口シャッタを開けないでください。

B：バッテリーを本機より取り出して充電する方法

- ①電源スイッチをOFFにしてください。
- ②本機からタンク・動噴・フレームを取り外してください。
(タンク・動噴・フレームの取り外しかたは、P.18【12：電動運搬車への切替方法】をお読みください。)
- ③本機前方のベースプレートロックを外して、ベースプレートを開きます。



ベースプレートロック



- ④バッテリー部からバッテリーパックカバーを取り外します。

バッテリーパックカバー



- ⑤バッテリーポストを90°傾けます。

バッテリーポスト



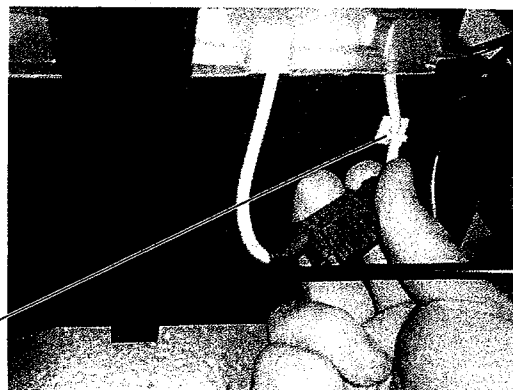
⑥充電口延長ケーブルをバッテリーから外します。

充電口延長ケーブル



⑦バッテリー受け側面のヒューズホルダリテーナから、ヒューズホルダ部を外します。

ヒューズホルダリテーナ

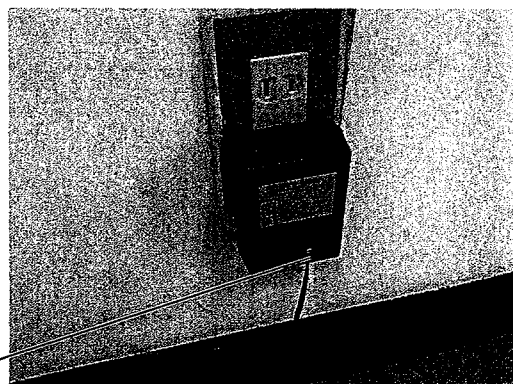


⑧バッテリーを持ち上げて取り出します。

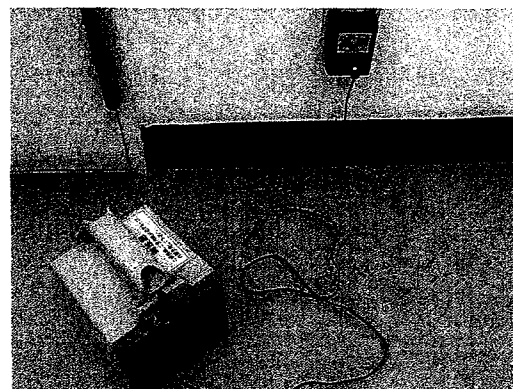


⑨「充電器」の充電プラグを家庭用 AC100V コンセントに差し込んでください。このとき、充電器のLED が緑色に点灯することを確認してください。
充電器のLED が緑色に点灯するのは、スタンバイ状態あるいは充電完了を示します。

LED



⑩バッテリーの充電口に「充電器」のプラグを挿し込みます。充電器のLED の色が緑色から赤色に点灯することを確認してください。充電器のLED が赤色に点灯するのは、充電中を示します。
また、バッテリーのLED も赤色に点灯することを確認してください。充電中は、バッテリーのLED は赤色に点灯します。(バッテリーのLED は充電が完了しても、消灯したり、色が変わったりしません。)



⑪8～12 時間後、充電器の LED が緑色に点灯すると、バッテリー満充電を示します。

(充電器の LED が緑色に点灯するまでの時間は放電状態により異なります。)

⑫充電終了後はバッテリーから充電器のプラグを抜き、家庭用 AC100V のコンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

13-2：充電時の注意

重要

- 本機搭載バッテリー専用充電器です。指定されたバッテリーパック以外の充電には使用しないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火の原因になります。
- バッテリーの端子と逆接しないでください。バッテリーの漏液、発熱、発火の原因になります。
- 必ず、指定された電源を使用してください。本体やバッテリーの発煙、発熱、破裂、発火、感電、火傷の原因になります。
- 分解したり、改造したりしないでください。感電や発熱、発火の原因になります。

警告

-  ●充電器を水に浸けたり、水をかけたり、濡れた場所で使用しないでください。ショート、感電、発熱、発火の原因になります。
-  ●電源コードや、電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷んだまま使用すると、火災、感電の原因になります。
-  ●本体や電源コードの接続部、充電端子部に金属類を挿し込まないでください。感電、発熱、発火の原因になります。
-  ●安全のため、小児が使用する際は、保護者が正しい使用法を十分に教えてください。使用中にも正しく使用しているか注意してください。また、乳幼児の手の届かないところで使用、保管してください。感電、けがの原因となるおそれがあります。
-  ●ケース、電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの挿し込みが緩いときは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因となります。
-  ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
-  ●電源プラグは、根本まで確実に挿し込んでください。感電や発火の原因となります。
-  ●電源プラグのほこりは、定期的に取りってください。ほこりがたまると、発火の原因となります。

注意

-  ●充電器を安全に使用するために、使用前にこの取扱説明書に記載されている内容をよく読んでください。
-  ●充電するときは、10℃～30℃の温度範囲で使用してください。この温度範囲外では、バッテリーの漏液、発熱、破裂の原因となるおそれがあります。
-  ●湿気やほこりの多い場所には置かないでください。感電や発熱、破裂の原因となるおそれがあります。
-  ●直射日光下や発熱体のそばなど、高温の場所で使用したり、保管したりしないでください。バッテリーが劣化するだけでなく、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火の原因となるおそれがあります。
-  ●電源コードは、コード部を引っ張らずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードが破損し、感電、発熱、破裂の原因となるおそれがあります。
-  ●指定時間以上の充電はしないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂の原因となります。
-  ●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電、漏電、火災の原因となります。
-  ●電源プラグ部、充電端子部にピンやゴミを付着させないでください。感電、ショート、発火の原因となります。
-  ●充電器が異常や不具合と思われるときは、直ちに電源プラグを電源から外してください。感電、発熱、発火の原因となります。
-  ●充電器にものを載せたり、落下しやすいところに置かないでください。充電器の破損、落下による感電、発熱、発火の原因となるおそれがあります。

13-3：充電器の使用条件

定格入力電圧	AC100V
入力周波数	50/60Hz
使用時温度	+10℃～+30℃
使用環境	屋内のみ

13-4: バッテリー取り扱い上の注意

(1) 使用環境および条件

 危険	 ●このバッテリーは、必ず付属の専用充電器で充電してください、他の充電器等で充電しますと、バッテリーを漏液、発熱、破裂させる原因になります。
	 警告 ●このバッテリーは、水や海水に浸けたり濡らさないでください。バッテリーを発熱させる原因になるおそれがあります。また、バッテリーを錆びさせることがあります。
	 注意  ●このバッテリーの充電温度範囲は、10℃～30℃です。この充電温度範囲外では、バッテリーを漏液、発熱させる原因になるおそれがあります。また、バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。  ●このバッテリーを直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前面などの高温の場所で使用・放置しないでください。バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。また、バッテリーの寿命を低下させることがあります。  ●このバッテリーを冷えたままや、寒い屋外で充電しないでください。バッテリーを漏液させる原因となるおそれがあります。また、バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。
推奨	●このバッテリーのご使用の温度範囲は、5℃～40℃です。この範囲外では、バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。

(2) 使用前の準備

 危険	 ●このバッテリーは、プラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に接続する時に、うまくつながらない場合は、無理に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、バッテリーを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
	 ●バッテリーを、電源コンセントや、自動車のシガレットライタの挿入口に、直接接続しないでください。バッテリーを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
 注意	 ●このバッテリーをお使いいただく前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みいただいたあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。なお、取扱説明書が十分に理解できない場合は、販売店にご相談ください。
	 ●お買い上げ後、初めてご使用の場合に錆びや発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店へご相談ください。
推奨	●お買い上げ後、このバッテリーを初めてご使用の場合や、長期間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してください。

(3) 指定用途外への使用

 危険	 ●このバッテリーは、本製品専用です。他の製品・用途には使用しないでください。バッテリーを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
--	---

(4) 使用方法

 危険	 ●バッテリーを火の中に投入したり、加熱しないでください。バッテリーの破裂や電解液の飛散の原因となります。
	 ●バッテリーに直接ハンダ付けしないでください。安全機構の破壊の原因となります。
	 ●バッテリーを分解、改造しないでください。バッテリーには危険防止のための保護装置が組み込まれています。これを損なうとバッテリーの発熱、破裂の原因になります。
	 ●バッテリーのプラス端子とマイナス端子を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製のネックレス等と一緒に持ち込んだり保管しないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂の原因になります。

 注意	 ●バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂の原因になるおそれがあります。
	 ●このバッテリーのご使用後は、本機の電源スイッチを必ず切ってください。バッテリーを漏液させる原因となるおそれがあります。
	 ●バッテリーは乳幼児の手の届かないところに保管してください。またご使用時に乳幼児が充電器や機器からバッテリーを取り出さないように注意してください。
	 ●このバッテリーを小児がご使用の場合は、保護者の方が取扱説明書の内容を充分にお教えるうえでご使用ください。また使用の途中においても、取扱説明書の方法で使用されているかどうかご注意ください。
	 ●このバッテリーは取扱説明書に記載している充電時間以上充電しないでください。バッテリーを漏液、発熱させる原因になるおそれがあります。

推奨	●このバッテリーへ取扱説明書に記載している定格電流値を超えたヒューズを取り付けしないでください。基板やモータを保護する機能が損なわれます。
-----------	---

(5) 保守・点検

 注意	 ●このバッテリーを使用しない場合や、長期間機器を使用しない場合には、使用機器からバッテリーを取り出してなるべく乾燥した冷所（ただし0℃以上）で保管してください。バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。また、サビや電池の性能や寿命を低下させることがあります。
--	---

推奨	●バッテリーの端子が汚れたら乾いた布でふき、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。
-----------	--

(6) 異常時の処置

 注意	 ●このバッテリーは内部に酸性の電解液を保持しています。このバッテリーの液が目に入ったときは、失明の原因となりますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと直ちに医師の治療をうけてください。
	 ●充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。バッテリーを漏液、発熱させる原因となります。
	 ●このバッテリーが漏液したり、変色、その他今までと異なることに気がついたときは使用しないでください。バッテリーを漏液、発熱させる原因になるおそれがあります。
	 ●このバッテリーは内部に酸性の電解液を所持しています。このバッテリーの液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす原因となりますので、ただちにきれいな水で洗い流してください。

(7) 廃棄時の処置

- ご使用済みのバッテリーは接続端子にビニールテープなど貼り付けて絶縁してから販売店にお渡しください。

14 故障と対策

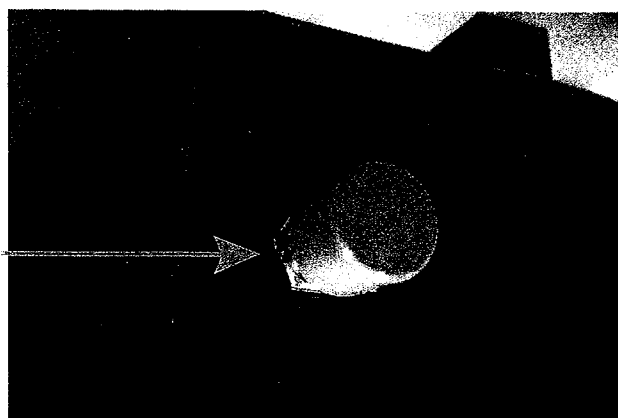
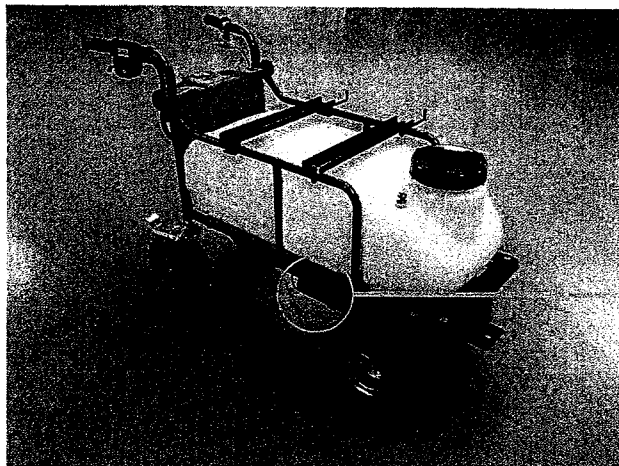
不 具 合 事 項	原 因	対 策
○電源スイッチを操作しても電源が付かない	●バッテリーが接続されていない ●電源スイッチを長押ししていない ●配線の断線 ●電源スイッチの故障 ●基板の故障 ●ヒューズ切れ※	◎バッテリーを接続する ◎電源スイッチを長押しする ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎ヒューズを交換する。交換後すぐにヒューズが切れるときは、販売店にご相談ください。

不 具 合 事 項	原 因	対 策
○スピードコントローラを握っても本機が駆動しない	●電源が入っていない※ ●進行方向が指定されていない※ ●ギアがニュートラルになっている※ ●ハンドブレーキまたはフットブレーキがロックされている※ ●配線の断線 ●基板の故障 ●モータの故障	◎電源を入れる ◎前後進切替スイッチで進行方向を指定する ◎ギアレバーをバッテリー走行状態に操作する ◎ハンドブレーキまたはフットブレーキのロックを解除する ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください
○LEDが点灯しない	●配線の断線 ●コネクタの抜け ●基板の故障	◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください
○走行速度が変速しない	●基板の故障	◎販売店にご相談ください
○ニュートラル走行中に勝手にバッテリー走行に切り替わってしまう	●モータの故障	◎販売店にご相談ください
○モータから異音	●モータの故障	◎販売店にご相談ください
○本機からブザー音が鳴る	●本機の起動時、スピードコントローラを握ったまま、電源スイッチを押している ●基板の故障	◎スピードコントローラを離した状態で、電源スイッチをONにする ◎販売店にご相談ください
○本機の充電口に充電コネクタを挿しても充電しない	●バッテリーの充電口に充電口延長ケーブルのコネクタが接続されていない ●充電器と充電変換ケーブルの接続不良※ ●配線の断線 ●充電器の異常 ●バッテリーの異常	◎バッテリーの充電口に充電口延長ケーブルを接続する ◎コネクタを正しく接続する ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください
○バッテリーの充電はしているが容量が回復しない	●充電時間の不足※ ●バッテリーの過放電または寿命 ●充電器の異常	◎充電する ◎数回充放電を繰り返し好転しない場合はバッテリーを交換する ◎販売店にご相談ください

原因欄に※のついたものは、本文を参照してください。その他ご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

15 故障かな？と思ったら

使用中に、静電気による影響などで製品が正常に動作しなくなりましたら、直ちに作業を中止し、リセットスイッチを押して、製品の電源が切れた事を確認した後、製品を再度起動させて、正常に動作するか確認してください。リセットスイッチは、バッテリー受け側面（本機右側面の下部）にある赤いボタンです。（このスイッチは、低く見辛い場所にあります。目線を低くして確認してください。）製品を再起動させても症状が回復しない場合は、お求めの販売店にご相談ください。



製品保証書 (大切に保管してください)

- この度は弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
 弊社では、本製品を末永くご使用いただくため、保証業務を行っております。
1. 本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたのですが、万一保証期間内に、注意ラベル、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、商品に本保証書を添えて、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
 2. 保証期間内でも次のような場合は有料修理になります。
 - ①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、又は損傷。
 - ②火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障、又は損傷。
 - ③消耗部品（パッキン、Ｏリング等）の損耗交換時の部品代及び修理代。
 - ④保管状態が適当でない場合の故障、又は損傷。
 - ⑤本保証書のご提示がない場合。
 - ⑥本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を弊社の承認を得ることなく修正した場合。
 3. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※本保証書に記載された内容のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するもので、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 ※保証期間経過後の修理等についてのご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
 ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および、その後の安全活動のためにご利用させていただき事がございますのでご了承ください。

品名:型式 (NAME:MODEL)	自走式電動タンク車 AT-70B		
製造番号			
保証期間	お買上げ	年	月
	1年間 (但し、消耗品は除く)		
お 客 様			
フリガナ			
お名前			
ご住所 〒			
TEL			
取 扱 販 売 店			
店名/住所/電話			
修理メモ			



本社/〒381-8530 長野市北長池1443-2
 TEL: 026-244-1317
 URL: <http://www.asaba-mfg.com>

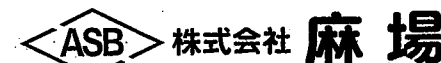
680091490-2018.06

製品保証書 (大切に保管してください)

- この度は弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
 弊社では、本製品を末永くご使用いただくため、保証業務を行っております。
1. 本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたのですが、万一保証期間内に、注意ラベル、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、商品に本保証書を添えて、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
 2. 保証期間内でも次のような場合は有料修理になります。
 - ①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、又は損傷。
 - ②火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障、又は損傷。
 - ③消耗部品（パッキン、Ｏリング等）の損耗交換時の部品代及び修理代。
 - ④保管状態が適当でない場合の故障、又は損傷。
 - ⑤本保証書のご提示がない場合。
 - ⑥本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を弊社の承認を得ることなく修正した場合。
 3. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※本保証書に記載された内容のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するもので、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 ※保証期間経過後の修理等についてのご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
 ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および、その後の安全活動のためにご利用させていただき事がございますのでご了承ください。

品名:型式 (NAME:MODEL)	電動運搬車 AD-120		
製造番号			
保証期間	お買上げ	年	月
	1年間 (但し、消耗品は除く)		
お 客 様			
フリガナ			
お名前			
ご住所 〒			
TEL			
取 扱 販 売 店			
店名/住所/電話			
修理メモ			



本社/〒381-8530 長野市北長池1443-2
 TEL: 026-244-1317
 URL: <http://www.asaba-mfg.com>

680091500-2018.06